

2 0 2 5 年度 シラバスブック
京都芸術大学附属高等学校

NAME _____

2025 年度 シラバス 目次

ページ 科目

【1 年生必修科目】

1－2	現代の国語
3－4	歴史総合
5－6	地理総合
7－8	数学Ⅰ
9－10	科学と人間生活
11－12	英語コミュニケーションⅠ
13－14	体育Ⅰ
15－16	保健Ⅰ
17－18	美術Ⅰ
19－20	情報Ⅰ
21－22	総合Ⅰ

【1 年生履修指定科目】

23－24	国語基礎
25－26	数学基礎
27－28	英語基礎
29－30	キャリアデザインⅠ

【2 年生必修科目】

31－32	言語文化
33－34	公共
35－36	体育Ⅱ
37－38	保健Ⅱ
39－40	家庭基礎
41－42	総合Ⅱ

【2 年生履修指定科目】

43－44	文学国語
45－46	世界史探求

【選択必修科目】

47－48	生物基礎
49－50	化学基礎
51－52	地学基礎

ページ 科目

【2・3 年生選択科目】

53－54	数学Ⅱ
55－56	数学 A
57－58	英語コミュニケーションⅡ
59－60	論理・表現Ⅰ
61－62	美術Ⅱ
63－64	産学連携Ⅰ

【3 年生必修】

65－66	体育Ⅲ
67－68	情報Ⅰ(3 年生)
69－70	総合Ⅲ

【3 年生履修指定科目】

71－72	国語表現
73－74	日本史探究

【3 年生選択科目】

75－76	古典探求
77－78	政治・経済
79－80	化学
81－82	生物
83－84	英語コミュニケーションⅢ
85－86	美術Ⅲ
87－88	工芸Ⅰ
89－90	工芸Ⅱ
91－92	工芸Ⅲ

【1年生必修科目】

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	現代の国語					
教科書	『新編 現代の国語』（東京書籍）					
副教材	『新編 現代の国語 学習課題ノート』（東京書籍）					
授業の概要・目的						
評論・随筆を通して作者の考え方や意見を正確に読み取り、自身の意見との相違を考える授業です。他者の意見を取り入れ、精査することで、自らの知見を深めることを目的としています。また、多様な表現や語彙を学ぶことで、表現力の習得を目指します。						
到達目標						
・他者の意見を正確に読み取ることができる。 ・言葉による見方・考え方を働かせることができる。 ・言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。						
履修にあたって						
「現代の国語」では主に評論を取り扱っていきます。「評論」と聞くと難しいと思うかもしれませんが、随時作品の内容や読み取り方を授業内で行うので安心してください。作者の意見や考え方のみならず、同じ作品を読んだ授業参加者同士の受け取り方の相違を通して、知見を深めていきましょう。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 2回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	【評論】福岡伸一「ルリボシカミキリの青」
第2回	【評論】山崎正和「水の東西」
第3回	【評論】塚原裕一「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」
第4回	【評論】村上信夫「鍋洗いの日々」
第5回	【思考・表現】分かりやすい説明をしよう／異なる種類の文章を読み比べよう
第6回	【評論】鷺田清一「真の自立とは」
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	福岡伸一「ルリボシカミキリの青」	第16回
第2回	山崎正和「水の東西」1/2	第17回
第3回	山崎正和「水の東西」2/2	第18回
第4回	塚原裕一「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」1/2	第19回
第5回	塚原裕一「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」2/2・試験対策	第20回
第6回	村上信夫「鍋洗いの日々」	第21回
第7回	分かりやすい説明をしよう	第22回
第8回	異なる種類の文章を読み比べよう	第23回
第9回	鷺田清一「真の自立とは」1/2	第24回
第10回	鷺田清一「真の自立とは」2/2・試験対策	第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	歴史総合					
教科書	歴史総合（実教出版）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>「歴史総合」では、18世紀から現代までの近現代史を対象として、300年にわたる「世界とそのなかの日本」を学びます。目的は二つあります。一つは、世界と日本との深いつながりを学ぶことです。もう一つは、歴史がつねに動いていることを知ることです。世界がどのような変遷をへて今日に至ったかを考えることは、世界がこれからどこに向かっていくのかを考えることでもあります。歴史を通して、「世界とそのなかの日本」を学ぶことが「歴史総合」です。</p>						
到達目標						
<p>世界と日本における近現代の歴史の変化に関わるできごとや現象の意味を見出したり、価値に気づいたりすることができるようになる。</p>						
履修にあたって						
<p>中学校までの地理や歴史の知識について、心配しなくても大丈夫です。。歴史上のできごとや現象の意味や価値を、皆で話し合い考察しながら知識を身に付けます。歴史が得意な人・好きな人だけでなく、どちらかというと苦手、好きではない、と感じている人も充実できる内容を考えています。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 2回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	第1編 近代化と私たち①
第2回	第1編 近代化と私たち②
第3回	第1編 近代化と私たち③
第4回	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち①
第5回	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち②
第6回	第3編 グローバル化と私たち①
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	第1編 近代化と私たち①	第16回
第2回	第1編 近代化と私たち②	第17回
第3回	第1編 近代化と私たち③	第18回
第4回	授業振り返り（テスト対策）	第19回
第5回	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち①	第20回
第6回	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち②	第21回
第7回	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち③	第22回
第8回	第3編 グローバル化と私たち①	第23回
第9回	第3編 グローバル化と私たち②	第24回
第10回	授業振り返り（テスト対策）	第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	地理総合					
教科書	地理総合（東京書籍）					
副教材	基本地図帳（二宮書店）					
授業の概要・目的						
地球上で起こっているさまざまなことを空間的な広がりとかかわりでとらえ、そうした地理的事象にはどのような規則性や傾向性がみられるのか、多角的な視点から考える授業です。多様な地域について学ぶことで、現代の社会に生きる一人の人間として必要な知識を身につけます。また、地理的事象を学習する中で、単なる暗記学習にとどまらない「思考力」の習得を目指します。						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・日本と世界の諸地域について学び、それぞれの特徴が説明できる。・地図を効果的に活用することができる。・地図や統計資料などの情報を正しく読み取り、それらの情報を自ら活用することができる。						
履修にあたって						
地図が苦手な都道府県や世界地図が全然分からないという人でも安心してください。地理で大切なことは「暗記すること」ではなく「与えられた情報をどう扱うか」です。地図や統計情報などをたくさん読んで、観察力と情報を扱う力を磨きましょう。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					無し	
【スクーリング】 2回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	地図や地理情報システムでとらえる現代世界①
第2回	地図や地理情報システムでとらえる現代世界②
第3回	国際理解と国際協力
第4回	さまざまな地球的課題と国際協力①
第5回	さまざまな地球的課題と国際協力②
第6回	自然環境と防災
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	地図や地理情報システムでとらえる現代世界 地図や地理情報システムの役割	第16回
第2回	人びとの生活文化と多様な地理的環境① 生活文化の多様性と国際理解	第17回
第3回	人びとの生活文化と多様な地理的環境② 生活文化と自然環境	第18回
第4回	試験対策授業	第19回
第5回	さまざまな地球的課題と国際協力① 人口問題	第20回
第6回	さまざまな地球的課題と国際協力② 居住・都市問題	第21回
第7回	持続可能な地域づくりと私たち① 日本の自然環境の特色	第22回
第8回	持続可能な地域づくりと私たち② さまざまな自然災害と防災(1)	第23回
第9回	持続可能な地域づくりと私たち③ さまざまな自然災害と防災(2)	第24回
第10回	試験対策授業	第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	3	単位	区分	必修
	数学Ⅰ					
教科書	新数学Ⅰ（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
基礎的な内容から定着を図り、日常的な数学の現象，コミュニケーションを踏まえて総合的に理解する力を身に着ける。数と式，2次関数，三角比及びデータの分析について，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。						
到達目標						
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。						
履修にあたって						
数学は復習が大切な科目です。授業後は復習を怠らずに反復演習に努めてください。中学までの数学が苦手な人や，授業よりも難しい演習に取り組みたい人は，スタサプの動画等をうまく活用してください。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 3回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	数と計算
第2回	1章 数と式 1節 文字と式
第3回	1章 数と式 2節 実数 3節 方程式と不等式
第4回	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ
第5回	2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化
第6回	3章 三角比 1節 鋭角の三角比
第7回	3章 三角比 2節 三角比の応用
第8回	4章 データの分析
第9回	5章 集合と論証
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1章 数と式 1節 文字と式	第16回	テスト対策
第2回	1章 数と式 2節 実数	第17回	
第3回	1章 数と式 3節 方程式と不等式	第18回	
第4回	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ(1)	第19回	
第5回	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ(2)	第20回	
第6回	2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化	第21回	
第7回	5章 集合と論証(1)	第22回	
第8回	テスト対策	第23回	
第9回	5章 集合と論証(2)	第24回	
第10回	3章 三角比 1節 鋭角の三角比(1)	第25回	
第11回	3章 三角比 1節 鋭角の三角比(2)	第26回	
第12回	3章 三角比 2節 三角比の応用	第27回	
第13回	4章 データの分析(1)	第28回	
第14回	4章 データの分析(2)	第29回	
第15回	4章 データの分析(3)	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	科学と人間生活					
教科書	科学と人間生活（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>自然に対する理解や科学技術の発展が日常生活や社会に与えた影響と、それらが果たしてきた役割について、科学の様々な分野を通して学習する。</p> <p>科学と人間生活の学習を通して、ものごとを科学的な見方で捉えることや、ものごとに対して科学的な考察ができるようになることを目指す。</p> <p>科学と人間生活の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。</p>						
到達目標						
<p>〈生命の科学〉生物の遺伝子について理解する。微生物の利用について説明できる。</p> <p>〈物質の科学〉日常生活で使われている物質とその再利用について理解する。衣料や食品に含まれる物質の性質や用途の違いを理解する。</p> <p>〈光や熱の科学〉光の性質とその法要について理解する。運動と熱の関係を物質的に説明することができる。</p> <p>〈宇宙や地球の科学〉時間と天体の動きを知り、太陽系における地球がどのような惑星か説明できる。地球における地殻変動を理解し、地殻変動が引き起こす現象について説明できる。</p>						
履修にあたって						
<p>人類は太古の時代から自然と共に生きてきました。時に自然の恩恵を受けながら、時に人類の力が及ばない自然現象にさらされながら生きてきたのです。人類が自然に対する知識や理解を深め自然の仕組みを解明し利用してきたことを学びながら、日常生活を科学の視点から共に学んでいきましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】8回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	物質の科学
第2回	物質の科学
第3回	生命の科学
第4回	宇宙や地球の科学
第5回	宇宙や地球の科学
第6回	光や熱の科学
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	金属	第16回	単位認定試験対策授業（宇宙や地球の科学）
第2回	物質の密度	第17回	
第3回	プラスチックの性質	第18回	
第4回	視覚とは何か	第19回	
第5回	DNAの抽出	第20回	
第6回	体を守る免疫のしくみ	第21回	
第7回	中間試験対策授業（物質の科学）	第22回	
第8回	中間試験対策授業（生命の科学）	第23回	
第9回	光の性質	第24回	
第10回	偏光	第25回	
第11回	光の入射・反射・屈折	第26回	
第12回	太陽と月がつくる暦と時間	第27回	
第13回	太陽がつくる大気と海洋の循環	第28回	
第14回	大地の運動	第29回	
第15回	単位認定試験対策授業（光と熱の科学）	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	4	単位	区分	必修
	コミュニケーション英語Ⅰ					
教科書	All Aboard! English CommunicationⅠ（東京書籍）					
副教材	All Aboard! English CommunicationⅠ WORKBOOK					
授業の概要・目的						
教科書の内容をもとに、英語を通じて情報を収集したり、クラスメイトとコミュニケーションをとることによって、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語を用いてやり取りしたり、プレゼンテーションしたり、書いたりする能力を身につける。						
到達目標						
日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたりして概要や要点をとらえたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり、文章を書いて伝えることができる。						
履修にあたって						
・準備物：教科書・ノート・筆記用具 ・4技能〔聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くこと〕について、授業やレポートで運用能力を高めていきましょう。 ・テストでは主に話すこと以外の練習の成果をはかっていきます。 ・教科書に出てくる語句や表現はどんどん習得しましょう。 ・積極的にアウトプットの練習をしましょう。 ・英語を通して、異文化に触れ視野を広げ、複数の観点から物事を考えることを心がけましょう。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 12回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	Pre-lesson Lesson 1 Breakfast around the World
第2回	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas
第3回	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku
第4回	Lesson 4 A Miracle Mirror
第5回	Lesson 5 Learning from the Sea
第6回	Reading 1 Short Stories in English
第7回	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period
第8回	Lesson 7 A Diary of Hope
第9回	Lesson 8 A Door to a New Life
第10回	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution
第11回	Lesson10 Pigs from across the Sea
第12回	Readin 2 The Wizard of Oz

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	W-UP 1年間の英語学習について	第16回	Lesson 7 アウトプット[自分の関心ある人物]について、英語で説明する。
第2回	Lesson 1 テーマ(世界の朝食)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第17回	Lesson 8 テーマ(ロボット)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。
第3回	Lesson 1 アウトプット[好きな食べ物]について英語で表現する。	第18回	Lesson 8 アウトプット[人の生活を豊かにするロボット]について考え、英語で提案する。
第4回	Lesson 2 テーマ(オーストラリアに棲息する珍しい野生動物)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第19回	Lesson 5～8 文法確認、演習
第5回	Lesson 2 アウトプット[好きな動物]について、英語で表現する。	第20回	Lesson 9 テーマ(プラスチックごみ等環境汚染)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。
第6回	Lesson 3 テーマ(東日本大震災)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第21回	Lesson 9 アウトプット[環境を守るために自分のできること]について、英語で意見を述べる。
第7回	Lesson 3 アウトプット[ある場所への行き方とそこで行えること]について、助動詞を使って英語で表現する。	第22回	Lesson 10 テーマ(沖縄)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。
第8回	Lesson 4 テーマ(海外の観光地)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第23回	Lesson 10 アウトプット[海外の文化や社会を理解する手段]について、自分で調べた事柄を用いて英語で考えや情報などを伝えあう。
第9回	Lesson 4 アウトプット[行ってみたい場所]について英語で表現する。	第24回	Lesson 9、10 文法確認、演習
第10回	Lesson 1～4 文法確認、演習	第25回	第21回の素材をもとに、プレゼンテーションの準備をする。
第11回	Lesson 5 テーマ(水族館)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第26回	第25回で準備したプレゼンテーション、フィードバックを行う。
第12回	Lesson 5 アウトプット[動名詞を使って、先週末に楽しんだことや近い将来の夢]について、英語で説明する	第27回	
第13回	Lesson 6 テーマ(浮世絵と現代漫画)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第28回	
第14回	Lesson 6 アウトプット[好きな絵]について、英語で説明する。	第29回	
第15回	Lesson 7 テーマ(アンネ・フランク)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	体育Ⅰ					
教科書	新高等保健体育（大修館書店）					
副教材	イラストでみる最新スポーツルール2025（大修館書店）					
授業の概要・目的						
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。						
到達目標						
運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を身につけることができる。						
履修にあたって						
【実技】準備物：体育館シューズ、動きやすい服装 【座学】準備物：教科書「新高等保健体育（大修館書店）」、筆記用具 運動をすると、さわやかな気分になったり心地よさを味わったりすることができます。また、体力の向上にもつながります。現代社会で健康を保持増進していくには、運動は必要不可欠です。運動が苦手でも構いません。仲間とともに運動を楽しみましょう。 ※「新高等保健体育（大修館書店）」と「イラストでみる最新スポーツルール2025（大修館書店）」の教科書は3年間使用します。大切に扱いましょう。						
観点別評価						
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	単位認定試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					・体操服（運動・スポーツができる格好） ・体育館シューズ ※それぞれ指定はありません	
【スクーリング】10回以上出席すること						
【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	第1章 運動・スポーツの発祥と発展 1節スポーツの発祥と成立～3節オリンピック・パラリンピックと国際社会 スポーツ種目（バドミントン）
第2回	第1章 運動・スポーツの発祥と発展 4節スポーツの経済効果とスポーツ産業～6節持続可能性から見たスポーツと環境 スポーツ種目（バレーボール）
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション	第16回	第1章3節オリンピック・パラリンピックと国際社会
第2回	体づくり運動	第17回	第1章4節スポーツの経済効果とスポーツ産業
第3回	バドミントン	第18回	第1章5節スポーツに求められる高潔さ
第4回	バドミントン	第19回	持続可能性から見たスポーツと環境
第5回	バドミントン	第20回	これまでの振り返り
第6回	バドミントン	※授業の進行状況や体育館の利用状況により変更になる場合あり	
第7回	バドミントン	第22回	
第8回	第1章1節スポーツの発祥と成立	第23回	
第9回	第1章2節スポーツ文化の発展と現代社会	第24回	
第10回	ハンドボール	第25回	
第11回	ハンドボール	第26回	
第12回	ハンドボール	第27回	
第13回	ハンドボール	第28回	
第14回	ハンドボール	第29回	
第15回	ハンドボール	第30回	

2024年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	1	単位	区分	必修
	保健Ⅰ					
教科書	新高等保健体育（大修館書店）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
保健の見方・考え方を働かせて、課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することを目指す。						
到達目標						
学習過程から「想像力（他者を思いやるこころ）」と「創造力（新しいものを生み出す力）」の育成を目指す。健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指す、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。また、健康的な生活行動を理解し、身近な健康問題に関心をもち、問題解決ができるようにする。						
履修にあたって						
【準備物】教科書「新高等保健体育（大修館書店）」 健康問題や社会の変化とともに、私たちの健康の捉え方や健康問題への対策のあり方も変化してきました。健康をどのように捉えられ、どのように過ごせばよいのでしょうか。多様な視点から健康を考えて、皆さんの生活に役立てましょう。						
観点別評価						
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	単位認定試験の点数により評価する					
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】1回以上出席すること						
【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	第1章 現代社会と健康 1節日本における健康課題の変遷～17節精神疾患への対応
第2回	第1章 現代社会と健康 1節日本における健康課題の変遷～17節精神疾患への対応
第3回	第2章 安全な社会生活 1節事故の現状と発生要因～6節日常的な応急手当
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	第1章現代社会と健康①	第16回
第2回	第1章現代社会と健康②	第17回
第3回	第2章安全な社会生活	第18回
第4回	これまでの振り返り	第19回
第5回		第20回
第6回		第21回
第7回		第22回
第8回		第23回
第9回		第24回
第10回		第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	美術Ⅰ					
教科書	高校生の美術1（日本文教出版）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
幅広い創造活動や作品鑑賞を通して美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。 自然や自己、生活などを見つめて主題を生成し、意図に応じて表現方法を創意工夫することで、主題を追求して創造的に表す。また、対話型鑑賞を通じて美術作品などの見方や感じ方を深める。						
到達目標						
生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。						
履修にあたって						
この授業は、作品のみでの採点は行ないません。 作品の発想やその表現に至る過程も含めて評価していきます。 中学までの美術に苦手意識がある人も、安心して受講してください。						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					材料費なし 色鉛筆を各自持参してください メーカーの指定はありません	
【スクーリング】8回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	デザイン 色の調子と分類
第2回	デザイン 色の整理と配色
第3回	デザイン 色のイメージ①
第4回	絵画 メッセージをカタチに
第5回	絵画 色のイメージ②
第6回	絵画 色のイメージ③
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション	第16回	鑑賞 対話型鑑賞 美術Ⅰまとめ
第2回	鑑賞 対話型鑑賞	第17回	
第3回	レポート課題取り組みのポイント①	第18回	
第4回	レポート課題取り組みのポイント②	第19回	
第5回	デザイン 色の調子と分類①	第20回	
第6回	デザイン 色の整理と配色①	第21回	
第7回	絵画 感情と色彩①	第22回	
第8回	絵画 感情と色彩②	第23回	
第9回	デザイン 色の調子と分類②	第24回	
第10回	デザイン 色の整理と配色②	第25回	
第11回	鑑賞 対話型鑑賞 作家研究①	第26回	
第12回	鑑賞 対話型鑑賞 作家研究②	第27回	
第13回	鑑賞 映像メディア①	第28回	
第14回	鑑賞 映像メディア②	第29回	
第15回	単位認定試験対策	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	情報Ⅰ					
教科書	新編情報Ⅰ（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>多くの情報に囲まれた現代社会においては、必要な情報を選択し、その真偽を判断し、最適な行動を選択できる情報活用能力をはじめ、問題解決のために主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し、改善しようとする態度や創造性が必要です。</p> <p>これらの力を身に付けるための知識と技術の習得を目指した学習を行います。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・自らの生活・学習において、主体的な情報活用ができる。・情報や情報技術の仕組み、あるいは情報の取り扱い方に関する基本的な理論や方法、仕組みを理解する。・情報や情報技術が果たしている役割、及ぼす影響を理解し、情報の正しい扱い方を判断できる。						
履修にあたって						
<p>みなさんは、「情報」ときいて、どんなイメージをもっていますか？なぜ、すべての高校生が「情報Ⅰ」を学ぶようになったのでしょうか？</p> <p>10年後もいきいきと社会に参画していくためには、情報を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくための「情報活用能力」を身に着けることが大切です。</p> <p>スクーリングでは、第1章～第4章の実践編にあたる第5章の内容をみなさんと活動しながら学べるように計画しています。レポートでは、教科書の内容を読み進めながら自分のペースで計画的に回答していきましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	単位認定試験の点数により評価する					
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】6回以上出席すること						
【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	第1章 情報で問題を解決する
第2回	第2章 情報を伝える
第3回	第3章 コンピュータを活用する
第4回	第4章 データを活用する
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	ガイダンス、アイデアの大量生産 (P118、1章P10)	第16回
第2回	作ろう！マイルール (P121、1章P12)	第17回
第3回	光の三原色体験 (P123、2章P44)	第18回
第4回	データ量の見積もり (P124、2章P40)	第19回
第5回	ピクトグラム (P125、2章P48)	第20回
第6回	webニュースページ (P128、2章P48)	第21回
第7回	プログラミングで動きを表現 (P136、3章P68)	第22回
第8回	プログラミングの基本構造 (scratch編) (3章P70～P73)	第23回
第9回	プログラミングの基本構造 (python編) (3章P70～P73)	第24回
第10回	ガチャのシミュレーション (P137、3章P80)	第25回
第11回	データの分析 (P141、4章P104)	第26回
第12回	パケット通信の体験 (P140、4章P140)	第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	総合Ⅰ					
教科書	なし					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>「コミュニケーション探究」をテーマとし、「安心安全」の学習環境を「対話」を通じてクラス全体でつくっていく授業です。</p> <p>対話的な様々な課題に取り組む中で、探究の見方・考え方を働かせ、よりよい課題解決ができるための資質・能力を身につけていきましょう。</p>						
到達目標						
<p>探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解することを目標とします。</p>						
履修にあたって						
<p>この授業では「コミュニケーション」をテーマとして扱っていきます。</p> <p>今、コミュニケーションに対して苦手な印象を持っている人もいるかも知れませんね。</p> <p>ただし、受講に際してそれは問題ありません。</p> <p>様々な活動を通じて、一緒に「よりよいコミュニケーション」について考えていきましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】6回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	コミュニケーション（対話）について①
第2回	コミュニケーション（対話）について②
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	情報カード①	第16回	第13～15回の振り返り
第2回	情報カード②	第17回	情報カード④
第3回	コミュニケーション①	第18回	コミュニケーション⑤
第4回	第1～3回の振り返り	第19回	コラボレーション⑥（アイデア）
第5回	コラボレーション①（コンセンサス）	第20回	最終レポート課題対策
第6回	コミュニケーション②	第21回	
第7回	コラボレーション②（アイデア）	第22回	
第8回	第5～7回の振り返り	第23回	
第9回	コミュニケーション③	第24回	
第10回	コラボレーション③（コンセンサス）	第25回	
第11回	コラボレーション④（アイデア）	第26回	
第12回	第9～11回の振り返り	第27回	
第13回	コラボレーション⑤（コンセンサス）	第28回	
第14回	情報カード③	第29回	
第15回	コミュニケーション④	第30回	

【1年生履修指定科目】

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	1	単位	区分	1学年履修指定
	国語基礎					
教科書	なし					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
ICT教材『スタディサプリ』を活用し国語の基礎力を養う。 1年の最初に「到達度テスト」を実施し、その結果から弱点と判断される事項も授業後半では扱う。規定された学習事項と最適化された課題設定により、国語の基礎力向上を目指す。						
到達目標						
中学校までの国語に苦手意識を持たずに、作品読解に向き合えるようになる。 国語の文法の基礎を習得し、自分の考えを伝えるための文章を書くことができるようになる。 スクーリングの1回目と8回目にそれぞれ「到達度テスト」を受験することによって、学習の目標を明確化するとともに、点数を指標とした学力の向上を目指す。						
履修にあたって						
この科目は、1年生の履修指定科目である。 文章を読み書きする力は、国語という枠を越えてあらゆる教科や、実生活でも必要な力です。文章の読み書きに苦手意識を持っている人こそ、楽しんで受けてもらいたい。						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】1回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	到達度テストの振り返り
第2回	グループ分け・言いかえの連続・選択肢への対応
第3回	長めの文章のグループ分け・長めの文章の言いかえ・到達度テストに向けた実力確認
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	到達度テスト	第16回
第2回	グループ分けして読む	第17回
第3回	グループ分け＋言いかえの連続に注目	第18回
第4回	言いかえの連続に注目（随筆編）	第19回
第5回	選択肢への対応・到達度テスト弱点単元①	第20回
第6回	長めの文章をグループ分け・到達度テスト弱点単元②	第21回
第7回	長めの文章で言いかえに注目・到達度テスト弱点単元③	第22回
第8回	到達度テスト	第23回
第9回		第24回
第10回		第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	1	単位	区分	1学年履修指定
	数学基礎					
教科書	なし					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
中学校範囲の内容について，到達度テストの結果をもとにスタディサプリを活用し，基礎の復習を行う。また，数学Ⅰの計算分野においては，定義や公式の本質的な理解を深めることを目指す。その上で，小テストやスタディサプリの単元テストを用いて，計算技能の定着と向上を図る。						
到達目標						
第1回の到達度テストで得た結果を振り返り，弱点を特定し改善する能力を身につけること。 第8回の到達度テストで，第1回の到達度テストよりも得点を向上させ，自身の学習成果を実感すること。						
履修にあたって						
毎回スタディサプリの単元テストを実施します。単元テストで間違えた問題はスタディサプリ内のフォローアップ課題を用いて自宅で学習を進めるようにしてください。 スタディサプリでは，問題演習だけでなく，自宅で講義動画を視聴することも可能です。授業だけでは技能を十分に定着させることが難しい場合がありますので，家庭での復習を積極的に行い、スタディサプリを活用して繰り返し演習しましょう。						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 1 回以上出席すること						
【テスト】 レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	数の計算，文字式の計算
第2回	方程式
第3回	因数分解，多項式の計算
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	到達度テスト	第16回	
第2回	数の計算	第17回	
第3回	文字式の計算	第18回	
第4回	方程式	第19回	
第5回	展開と因数分解	第20回	
第6回	根号を含む計算	第21回	
第7回	連動課題配信学習	第22回	
第8回	到達度テスト	第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	1	単位	区分	1学年履修指定
	英語基礎					
教科書	なし					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<div>・必修科目「英語コミュニケーションI」で取り扱う英文法を中心に基礎から丁寧に学ぶ。</div> <div>・中学校で学習する英文法の学び直しを行い、高校での英語学習に必要な基礎を確立する。</div>						
到達目標						
<div>・基礎から丁寧に学ぶことで、英文法の理解を深めることができる。</div> <div>・毎時間チェックテストを行うことで、自身の理解度を確かめることができる。</div> <div>・習熟度に応じた適切な課題を設定することで、継続的な自主学習を行うことができる。</div>						
履修にあたって						
中学校で学んだ英文法を基礎から丁寧に学ぶ授業です。必修科目「英語コミュニケーションI」の内容理解を支援し、基礎・基本の力をつけます。この授業はICT教材「スタディサプリ」を活用することを前提としています。本教材を使用することにより、「学習状況の可視化」や「習熟度に応じた課題設定の最適化」が可能となります。また「継続的な学習習慣の定着」を目指します。						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】4回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	時制
第2回	助動詞・進行形
第3回	受け身・比較・現在進行形
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	スタディサプリガイダンス&進捗確認テスト	第16回
第2回	時制	第17回
第3回	助動詞	第18回
第4回	進行形	第19回
第5回	受け身	第20回
第6回	比較	第21回
第7回	現在完了形	第22回
第8回	進捗確認テスト	第23回
第9回		第24回
第10回		第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

【2年生必修科目】

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	言語文化					
教科書	『新 言語文化』（三省堂）					
副教材	『新 言語文化 学習課題ノート』（三省堂）					
授業の概要・目的						
<p>古典・近代の作品を通して、日本の言語文化に対する理解と認識を高める授業です。現在とは違う表現の仕方や語彙を学びつつも、現代にも通じる当時の人々の考えや心情をくみ取することを目的としています。また、古典・近代の作品の言い回しや表現に親しむことを目指します。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・日本の言語文化に対する理解と認識を高める。・古典作品や他言語文学作品を通して、言語の根底に流れる文化・価値観の相違を客観的に理解する。・他者を理解しつつ、主体的に考え、伝え合う言語活動を通して、国語の力を育成する。						
履修にあたって						
<p>「言語文化」では、古典（古文・漢文）・近代の作品を取り扱っていきます。特に古典の分野に関しては、苦手意識が先行すると思いますが、しっかりポイントを押さえていきましょう。また、読みなれない文章だからこそ、予習として音読することを推奨します。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 2回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	【古文】『枕草子』 「ありがたきもの」
第2回	【漢文】 故事「虎の威を借る」
第3回	【現代文】 芥川龍之介『羅生門』
第4回	【古文】『伊勢物語』 「芥川」
第5回	【漢文】『説苑』 「景公之馬」
第6回	【現代文】 ティム・オブライエン「待ち伏せ」
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション 【古文】『枕草子』 「ありがたきもの」	第16回	
第2回	【漢文】 漢文基礎・ 故事「虎の威を借る」	第17回	
第3回	【小説】 芥川龍之介『羅生門』 1/2	第18回	
第4回	【小説】 芥川龍之介『羅生門』 2/2・試験対策	第19回	
第5回	【古文】『伊勢物語』 「芥川」	第20回	
第6回	【漢文】『説苑』 「景公之馬」	第21回	
第7回	【小説】 ティム・オブライエン「待ち伏せ」 1/2	第22回	
第8回	【小説】 「待ち伏せ」 2/2・試験対策	第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	公共					
教科書	公共（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
「公共」での学びをとおして、世の中のすべての人々が希望をもって民主的な社会を形成することがこの科目の目的です、授業では公共の精神を尊重し、社会全体の利益を実現しようとする態度・資質を身に付けることを目指します。						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・社会連帯の自覚に基づいて、他者と協同する場を実現できる力を身に付けることができる。・多面的・多角的な考察をつうじて、「人間としての在り方生き方」を考えることができる。・自立的な生き方や社会の形成者としての在り方について自ら考え、よりよく生きるための行為を自分の意志や判断によって選択できる。・現代的な諸課題（国際理解、情報、環境、福祉・健康など）を知り、解決を図ることができる。						
履修にあたって						
現代社会には多くの諸課題が存在します。そしてこれらの課題に直面した時に課題を解決することは難しいケースがしばしば見られます。。この授業では、そのような現代社会の課題に対して当事者意識をもって積極的に関わっていけるように楽しく有意義な学びを対話やグループワークを中心に展開していきます。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 2回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	第一部 「公共」のとびら 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方ー共に生きるための倫理
第2回	第3章 公共的な空間における基本的原理ー私たちの民主的な社会
第3回	第二部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち
第4回	第3章 経済社会で生きる私たち
第5回	第4章 私たちの職業選択
第6回	第5章 国際社会のなかで生きる私たち
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第一部 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方	第16回	
第2回	第3章 公共的な空間における基本的原理 第二部 第1章 民主政治と私たち	第17回	
第3回	第1・2回授業振り返り	第18回	
第4回	第3章 経済社会で生きる私たち 第4章 私たちの職業選択	第19回	
第5回	第5章 国際社会のなかで生きる私たち	第20回	
第6回	第4・5回授業振り返り	第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	3	単位	区分	必修
	体育Ⅱ					
教科書	新高等保健体育（大修館書店）					
副教材	イラストでみる最新スポーツルール2023					
授業の概要・目的						
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。						
到達目標						
運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を身につけることができる。						
履修にあたって						
【実技】準備物：体育館シューズ、動きやすい服装 【座学】準備物：教科書「新高等保健体育（大修館書店）」、筆記用具 運動をすると、さわやかな気分になったり心地よさを味わったりすることができます。また、体力の向上にもつながります。現代社会で健康を保持増進していくには、運動は必要不可欠です。運動が苦手でも構いません。仲間とともに運動を楽しみましょう。 ※「新高等保健体育（大修館書店）」と「イラストでみる最新スポーツルール2025（大修館書店）」の教科書は3年間使用します。大切に扱いましょう。						
観点別評価						
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	単位認定試験の点数により評価する					
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					・体操服（運動・スポーツができる格好）	
【スクーリング】15回以上出席すること					・体育館シューズ	
【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること					※それぞれ指定はありません	

レポート	
回	内容
第1回	第2章 運動スポーツの学び方 1節スポーツの技術と戦術～2節スポーツにおける技能と体力 スポーツ種目
第2回	第2章 運動スポーツの学び方 3節技能の上達過程と練習の考え方～4節技能と効果的な動きのメカニズム スポーツ種目
第3回	第2章 運動スポーツの学び方 5節体力トレーニング～6節運動やスポーツでの危険予知と安全確保 スポーツ種目
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第2章1節スポーツにおける技術と戦術・戦略	第16回	第2章4節効果的な動きのメカニズム
第2回	体づくり運動	第17回	ハンドボール
第3回	サッカー（フットサル）	第18回	ハンドボール
第4回	サッカー（フットサル）	第19回	ハンドボール
第5回	サッカー（フットサル）	第20回	第2章5節体力トレーニング
第6回	サッカー（フットサル）	第21回	ハンドボール
第7回	第2章2節スポーツにおける技能と体力	第22回	ハンドボール
第8回	サッカー（フットサル）	第23回	第2章6節運動やスポーツでの危険予知と安全確保
第9回	サッカー（フットサル）	第24回	これまでの振り返り
第10回	サッカー（フットサル）	※授業の進行状況や体育館の利用状況により変更になる場合あり	
第11回	第2章3節技能の上達過程と練習の考え方	第26回	
第12回	サッカー（フットサル）	第27回	
第13回	ハンドボール	第28回	
第14回	ハンドボール	第29回	
第15回	ハンドボール	第30回	

2024年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	1	単位	区分	必修
	保健Ⅱ					
教科書	新高等保健体育（大修館書店）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>保健の見方・考え方を働かせて、課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することを目指す。</p>						
到達目標						
<p>学習過程から「想像力（他者を思いやるころ）」と「創造力（新しいものを生み出す力）」の育成を目指す。健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。また、健康的な生活行動を理解し、身近な健康問題に関心をもち、問題解決ができるようにする。</p>						
履修にあたって						
<p>【準備物】教科書「新高等保健体育（大修館書店）」</p> <p>健康問題や社会の変化とともに、私たちの健康の捉え方や健康問題への対策のあり方も変化してきました。健康をどのように捉えられ、どのように過ごせばよいのでしょうか。多様な視点から健康を考えて、皆さんの生活に役立てましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	単位認定試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】1回以上出席すること						
【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	第3章 生涯を通じる健康 1節思春期と健康～7節高齢社会に対応した取り組み
第2回	第3章 生涯を通じる健康 8節働くことと健康～第4章 健康を支える環境づくり 4節環境衛生にかかわる活動
第3回	第3章 健康を支える環境づくり 5節食品の安全性と健康～11節誰もが健康に過ごせる 社会に向けた環境作り
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	第3章生涯を通じる健康	第16回
第2回	第4章健康を支える環境づくり①	第17回
第3回	第4章健康を支える環境づくり②	第18回
第4回	これまでの振り返り	第19回
第5回		第20回
第6回		第21回
第7回		第22回
第8回		第23回
第9回		第24回
第10回		第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	家庭基礎					
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
生活の営みに係る身から・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と共同し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する脂質・能力を次の通り育成することを旨とする。						
到達目標						
・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図ると共にする、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ・家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考查したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の社会の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。						
履修にあたって						
「家庭科」からイメージすることは調理や裁縫といった実技的なものかもしれませんが。実は、ひとの一生、生命の誕生から人生の終わりを迎えるまでに起こる生活に関わるあらゆることが詰まっているのが「家庭科」です。社会に出てから「あ！知ってる」や「これは役に立つ！」を中心に授業を行います。 ※授業の進行状況により変更になる場合もあります。						
観点別評価						
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	単位認定試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					被服実習費として500円程度	
【スクーリング】 6回以上出席すること						
【テスト】 単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	第1章「生涯を見通す」 第2章「子どもと共に育つ」
第2回	第3章「高齢社会」 第4章「共生社会」
第3回	第5章「食生活をつくる」
第4回	第6章「衣生活」～第11章「これからの生活を創造する」
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション・第1章生涯を見通す	第16回	
第2回	第2章人生をつくる	第17回	
第3回	第3章子どもと共に育つ	第18回	
第4回	第4章高齢社会・第5章共生社会	第19回	
第5回	第5章食生活をつくる①	第20回	
第6回	第5章食生活をつくる②	第21回	
第7回	第6章衣生活をつくる（実習）	第22回	
第8回	第6章衣生活をつくる（実習）	第23回	
第9回	第7章住生活をつくる	第24回	
第10回	第8章経済生活を営む	第25回	
第11回	第10章・第11章持続可能な生活	第26回	
第12回	まとめ・試験対策	第27回	
第13回	※扱う分野の順番が変更となる場合があります。ご了承ください。	第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	総合Ⅱ					
教科書	なし					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>「コミュニケーション探究」をテーマとし、お互いの意見を聴き合い尊重することで、ひとりではたどり着けなかった新しいアイデアをチームでつくっていく授業です。 対話的な様々な課題に取り組む中で、探究の見方・考え方を働かせ、よりよい課題解決ができるための資質・能力を身につけていきましょう。</p>						
到達目標						
<p>探究の過程において、自ら問いを立て、情報を集め、整理・分析してまとめ、自分の意見が表現できるようになりましょう。最終的には、他者の見方や意見を踏まえて、チーム全体で合意形成できるようになることを目標とします。</p>						
履修にあたって						
<p>この授業では「コミュニケーション」をテーマとして扱っていきます。 前年度に引き続き、総合Ⅰで扱った題材を更に発展させた内容となります。 様々な活動を通じて、論理的に考える態度や社会性、客観性を身につけていきましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】6回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	コミュニケーション（対話）について
第2回	コンセンサス（合意）について
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	情報カード①	第16回	第13～15回の振り返り
第2回	コラボレーション①（アイデア）	第17回	情報カード④
第3回	コラボレーション②（コンセンサス）	第18回	コミュニケーション④
第4回	第1～3回の振り返り	第19回	コラボレーション⑦（アイデア）
第5回	コミュニケーション①	第20回	最終レポート課題対策
第6回	情報カード②	第21回	
第7回	コラボレーション③（アイデア）	第22回	
第8回	第5～7回の振り返り	第23回	
第9回	コミュニケーション②	第24回	
第10回	コラボレーション④（コンセンサス）	第25回	
第11回	コラボレーション⑤（アイデア）	第26回	
第12回	第9～11回の振り返り	第27回	
第13回	情報カード③	第28回	
第14回	コラボレーション⑥（コンセンサス）	第29回	
第15回	コミュニケーション③	第30回	

【2年生履修指定科目】

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	4	単位	区分	2学年履修指定
	文学国語					
教科書	文学国語（大修館書店）					
副教材	文学国語 学習ノート（大修館書店）					
授業の概要・目的						
<p>小説，随筆，詩歌，脚本等に描かれた人物の心情や情景，表現の仕方等を読み、味わい評価するとともに，それらの創作に関わる能力を育成する科目として「思考力・判断力・表現力等」の感性・情緒の側面の力を育成する。</p>						
到達目標						
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>						
履修にあたって						
<p>教科書に掲載されている作品はもちろん、生活の中で映画や小説に接したときの感じ方をどう表現することができるのか、創造力に繋げられるかを年間を通して考え、自分の言葉で表現できるようにしましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 4回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	【随想・評論】朝井リョウ「十八歳の選択」
第2回	【小説】中島敦「山月記」
第3回	【随想・評論】小池昌代「鹿を追いかけて」
第4回	【詩】
第5回	【短歌・俳句】
第6回	【小説】石田衣良「旅する本」
第7回	【随想・評論】多和田葉子「月の誤訳」
第8回	【小説】文学史
第9回	【小説】フランツ・カフカ「掟の門」
第10回	【小説】梶井基次郎「檸檬」
第11回	【小説】夏目漱石「こころ」①
第12回	【小説】夏目漱石「こころ」②

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	オリエンテーション 【随想・評論】朝井リョウ「十八歳の選択」	第16回
第2回	【小説】中島敦「山月記」 1/2	第17回
第3回	【小説】中島敦「山月記」 2/2	第18回
第4回	【随想・評論】小池昌代「鹿を追いかけて」	第19回
第5回	詩・試験対策	第20回
第6回	【小説】フランツ・カフカ「掟の門」	第21回
第7回	【小説】梶井基次郎「檸檬」 1/2	第22回
第8回	【小説】梶井基次郎「檸檬」 2/2	第23回
第9回	小説『こころ』 1/2	第24回
第10回	小説『こころ』 2/2	第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	2学年履修指定
	世界史探究					
教科書	「世界史探究」（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>みなさんは、すでに「歴史総合」を学んでいます。その授業を通じてみなさんは、近現代の歴史の展開について、世界とそのなかの日本をしっかりと視野に置いて学び、多様な資料を活用して自ら読み解く作業をしてきました。さらに、歴史について考え、どのように判断できるのか、発表したり議論したりする経験を積み重ねたことと思います。そのような学習の方式は「世界史探究」でも同様です。これまでの学びの経験をさらに発展させていきます。多様な時代、地域・国についても、あるいは政治や経済、社会について、広い視野の中でとらえられるように学んでいきましょう。</p>						
到達目標						
<p>・世界史の諸事象について、世界史の大きな枠組みに関する概念等を活用して多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>・世界史にまつわる文章や画像資料を読み取り、自分なりの意見を組み立てることができる。</p> <p>・歴史を通じて、現代の諸課題を把握し、その解決に向けて自分なりの考えを構想することができる。</p>						
履修にあたって						
<p>世界史は暗記もちろん大切ですが、それ以上に「考える力（思考力）」がとても重要です。授業やレポートで学習したことを手掛かりに、なぜその事柄が起こったのか、諸地域はどのような課題を抱えているのか、考えることを授業では行います。皆さんの積極的な参加を待っています。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 4回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	古代イスラーム史
第2回	中世イスラーム史
第3回	中国史①
第4回	中国史②
第5回	大航海時代
第6回	絶対王政と市民革命
第7回	帝国主義の時代
第8回	第一次世界大戦へ向かう世界
第9回	第一次世界大戦とその後
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	古代イスラーム史	第16回	
第2回	中世イスラーム史	第17回	
第3回	中国史①	第18回	
第4回	中国史②	第19回	
第5回	市民革命	第20回	
第6回	帝国主義の時代	第21回	
第7回	第一次世界大戦へと向かう世界	第22回	
第8回	第一次世界大戦後の世界	第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

【選択必修科目】

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	2学年履修指定
	生物基礎					
教科書	新編生物基礎（東京書籍）					
副教材	ニューステップアップ 生物基礎（東京書籍）					
授業の概要・目的						
<p>生物基礎では、生物や生物現象にかかわる基礎的な内容について学習する。 〈生物の特徴〉 〈遺伝子とのはたらき〉 〈生物の体内環境の維持〉 〈免疫〉 〈植生〉 〈生物の多様性と生態系〉 生物について学ぶことで、生物の一員である我々ヒトについての理解を深める。「細胞」「組織」「個体」「生態系」という階層性を意識して学ぶことで、生物学を大小様々な視野で捉えることができるようになることを目指す。 生物基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。</p>						
到達目標						
<p>生物学の基礎的な知識を習得し、生物の共通性と多様性を理解する。 生物とそれを取り巻く環境を学ぶことで、その繋がりを理解する。 授業で学んだことを活かし、細胞から生態系まで、大小さまざまな視野で生物学を捉えることができる。 授業で学んだことを活かし、「生物とは何か」について、自分なりの考えを持つことができる。</p>						
履修にあたって						
<p>私たち人間も生物の一種です。 生物とそれを取り巻く環境を学ぶことで、生物とは何か、動物とは何か、ヒトとは何かの答えにより近づくことができるでしょう。 私たちヒトを含めた生物が「生きている」ということとはどのようなことなのか、共に学んでいきましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 8回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	生物の特徴
第2回	遺伝子とそのはたらき
第3回	生物の体内環境の維持
第4回	免疫
第5回	植生
第6回	生物の多様性と生態系
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	生物の多様性と共通性	第16回	全体を通しての授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り
第2回	生物とエネルギー	第17回	
第3回	第1回～第2回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第18回	
第4回	生物と遺伝子	第19回	
第5回	遺伝情報とタンパク質合成	第20回	
第6回	第4回～第5回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第21回	
第7回	体内環境の維持	第22回	
第8回	体内環境を保つしくみ	第23回	
第9回	第1回～第8回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第24回	
第10回	免疫しくみ	第25回	
第11回	免疫とさまざまな疾患	第26回	
第12回	第10回～第11回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第27回	
第13回	植生と遷移	第28回	
第14回	遷移とバイオーム	第29回	
第15回	生態系とその保全	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択必修
	化学基礎					
教科書	新編化学基礎（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
化学基礎では、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割について学習する。 物質の構成を学び、それらが物質の性質や物質の反応にどのような影響しているかを理解することを目指す。また、それらが人間社会とどのような関わりを持っているかを理解することを目指す。 化学基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。						
到達目標						
“化学の基礎的な知識を習得し、物質の構成や物質の変化について理解する。 物質を構成する粒子の構造とその性質が、物質の性質や物質に起こる現象に関係することを理解する。 授業で学んだことを活かし、身近な「物質の性質」についてその仕組みを説明できる。 授業で学んだことを活かし、身近な「物質に起こる現象」についてその仕組みを説明できる。”□						
履修にあたって						
化学基礎を学ぶことで、私たちの日常に潜む現象の仕組みを深く理解することができます。 物質の性質や反応の法則を知るとは、科学的な思考力を養い、将来の幅広い分野での活躍に役立ちます。 さらに、実験を通じて得られる実践的な経験は、知識の定着と探究心を刺激します。 学びの一步を踏み出し、化学の世界に触れてみませんか？						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 8回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	物質の成分と構成元素
第2回	原子の構造と元素の周期表
第3回	化学結合
第4回	物質と化学反応式
第5回	酸と塩基
第6回	酸化還元反応
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	物質の成分	第16回	全体を通しての授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り
第2回	物質の構成元素と三態	第17回	
第3回	原子の構造	第18回	
第4回	電子配置	第19回	
第5回	周期表	第20回	
第6回	結合と結晶①	第21回	
第7回	結合と結晶②	第22回	
第8回	中間試験対策授業	第23回	
第9回	原子量、分子量、式量	第24回	
第10回	物質と	第25回	
第11回	溶液の濃度	第26回	
第12回	化学反応式と量的関係	第27回	
第13回	酸と塩基	第28回	
第14回	中和反応と塩	第29回	
第15回	酸化と還元・酸化還元反応	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択必修
	地学基礎					
教科書	地学基礎（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>地学基礎では、私たちの生活の場である自然環境に関する内容について学習する。 〈私たちの宇宙の進化〉 〈私たちの地球の変遷と生物の進化〉 〈私たちの大地〉 〈私たちの空と海・地球のこれから〉 地学を学ぶことで物理的、化学的、生物的側面の理解をより深めることができる。地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、地球の自然環境と日常生活や社会とのかかわりを考えることができるようになることを目指す。地学基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。</p>						
到達目標						
<p>地学の基礎的な知識を習得し、地学的に探究する能力と態度が身につく。 学習した内容が日常生活や社会とかわることを理解することで、地球や地球を取り巻く環境について関心を高める。 授業で学んだことを活かし、科学的な見方や考え方を持つことができる。</p>						
履修にあたって						
<p>地学では化学、物理を通して宇宙や地球内部の状態、気象現象の原因などを解明し、生物学などを通して生物的多様性がどのようにして発達したのかを大きな視点から捉えて行きます。実験やデジタルツールの活用を通して親しみましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 8回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	私たちの大地
第2回	私たちの空と海
第3回	私たちの宇宙の誕生
第4回	私たちの地球の歴史
第5回	地球に生きる私たち
第6回	これからの地球環境
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1 編 1 章 大地とその動き	第16回	4 編、5 編の振り返り
第2回	1 編 2 章 火山活動と地震	第17回	
第3回	第1回～第2回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第18回	
第4回	2 編 1 章 地球の熱収支	第19回	
第5回	2 編 2 章 大気と海水の運動	第20回	
第6回	第4回～第5回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第21回	
第7回	3 編 1 章 宇宙の構造と進化	第22回	
第8回	1 編、2 編、3 編の振り返り	第23回	
第9回	4 編 1 章 地層と化石の観察	第24回	
第10回	4 編 2 章 古生物の変遷と地球環境	第25回	
第11回	第9回～第10回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第26回	
第12回	5 編 1 章 日本の自然の恵みと防災	第27回	
第13回	5 編終 1 章 地球環境の考え方	第28回	
第14回	5 編終 2 章 自然環境の変動	第29回	
第15回	5 編終 3 章 これからの地球環境	第30回	

【2.3 年生選択科目】

2024年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	4	単位	区分	選択
	数学Ⅱ					
教科書	新数学Ⅱ（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指関数と対数関数，微分と積分について，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。						
到達目標						
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。						
履修にあたって						
理系学部や国公立大学文系学部志望の人は受験科目として必要になります。この科目は計算問題が中心で，数学Ⅰをより発展させた科目になります。数学に興味があり，複雑な計算問題を解いてみたい人はぜひ履修してください。また積極的に授業に参加し，まずはレポートの問題の理解に努めて下さい。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】4回以上出席すること						
【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 2節 2次方程式
第2回	1章 方程式・式と証明 3節 高次方程式 4節 式と証明
第3回	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式
第4回	2章 図形と方程式 2節 円の方程式 3節 軌跡と領域
第5回	3章 三角関数 1節 三角関数
第6回	3章 三角関数 2節 加法定理
第7回	4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数
第8回	4章 指数関数と対数関数 2節 対数関数
第9回	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数
第10回	5章 微分と積分 2節 導関数の応用
第11回	5章 微分と積分 3節 積分(1)
第12回	5章 微分と積分 3節 積分(2)

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	1章 方程式・式と証明	第16回
第2回	2章 図形と方程式(1)	第17回
第3回	2章 図形と方程式(2)	第18回
第4回	3章 三角関数(1)	第19回
第5回	3章 三角関数(2)	第20回
第6回	4章 指数関数と対数関数(1)	第21回
第7回	4章 指数関数と対数関数(2)	第22回
第8回	5章 微分と積分(1)	第23回
第9回	5章 微分と積分(2)	第24回
第10回	5章 微分と積分(3)	第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2024年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択
	数学A					
教科書	新数学A(東京書籍)					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
場合の数と確率，図形の性質，数学と人間の活動について基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。						
到達目標						
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。						
履修にあたって						
数学Aは数学Ⅰと比べ，計算問題が少なく図形問題など概念や原理をしっかりと理解する必要があります。数学ⅠA(数学ⅠとAのセット)として入試科目になりやすいので，受験で必要な人や数学Ⅰに興味深く学習できた人は履修ください。また積極的に授業に参加し，まずはレポートの問題の理解に努めて下さい。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】2回以上出席すること						
【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	1章 場合の数と確率 1節 場合の数
第2回	1章 場合の数と確率 2節 確率
第3回	2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎 2節 三角形の性質
第4回	2章 図形の性質 3節 円の性質 4節 空間図形
第5回	3章 数学と人間の活動 1節 数や位置を表す 2節 数のつくりを調べる
第6回	3章 数学と人間の活動 3節 はかる 4節 数学で遊ぶ
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1章 場合の数と確率(1)	第16回	
第2回	1章 場合の数と確率(2)	第17回	
第3回	2章 図形の性質(1)	第18回	
第4回	2章 図形の性質(2)	第19回	
第5回	3章 数学と人間の活動(1)	第20回	
第6回	3章 数学と人間の活動(2)	第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	4	単位	区分	選択
	コミュニケーション英語Ⅱ					
教科書	All Aboard! English CommunicationⅡ（東京書籍）					
副教材	All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK					
授業の概要・目的						
教科書の内容をもとに、英語を通じて情報を収集したり、クラスメイトとコミュニケーションをとることによって、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語を用いてやり取りしたり、プレゼンテーションしたり、書いたりする能力を身につける。						
到達目標						
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたりして概要や要点をとらえたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり、文章を書いて伝えることができる。						
履修にあたって						
・準備物：教科書・ノート・筆記用具 ・4技能〔聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くこと〕について、授業やレポートで運用能力を高めていきましょう。 ・テストでは主に話すこと以外の練習の成果をはかっていきます。 ・教科書に出てくる語句や表現はどんどん習得（英語コミュニケーションⅠで学んだ語句も確認できるようにしておきましょう）して、アウトプットにおいて積極的に使いましょう。 ・英語を通して、異文化に触れ視野を広げ、複数の観点から物事を考える機会を増やしましょう。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 16回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	Pre-lesson Lesson 1 A Colorful Island
第2回	Lesson 2 With the Beatles
第3回	Lesson 3 Wild Men
第4回	Lesson 4 Little Hero
第5回	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki
第6回	Reading 1 Mujina
第7回	Lesson 7 Over the Wall
第8回	Lesson 8 Inspiration from Nature
第9回	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate
第10回	Lesson 10 Fighting Angel
第11回	Reading 2 Bear's Pie
第12回	Extra Taret

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	W-UP 1年間の英語学習について	第16回	Lesson 7 アウトプット[世界の人々と交流する方法]について、英語で述べる。
第2回	Lesson 1 テーマ(イタリアのブラーノ島)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第17回	Lesson 8 テーマ(生物模倣)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。
第3回	Lesson 1 アウトプット[海外で行ってみたい場所]について、英語で述べる。	第18回	Lesson 8 アウトプット[自然界のデザインをヒントにした製品]について、英語で発表する。
第4回	Lesson 2 テーマ(世代を超えて人気のあるバンド)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第19回	Lesson 5～8 文法確認、演習
第5回	Lesson 2 アウトプット[世代を超えて人気のある人物]について、英語で述べる。	第20回	Lesson 9 テーマ(カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。
第6回	Lesson 3 テーマ(人間社会と自然)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第21回	Lesson 9 アウトプット[ビントゥパーチョコレート]について、英語で意見を述べる。
第7回	Lesson 3 アウトプット[身近な行事]について、英語で紹介する。	第22回	Lesson 10 テーマ(ナイチンゲールの生涯)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。
第8回	Lesson 4 テーマ(不断の努力と不屈の心)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第23回	Lesson 10 アウトプット[「人を助ける」という職業]について、英語で説明する。
第9回	Lesson 4 アウトプット[自分の好きな物語]を英語で紹介する。	第24回	Lesson 9、10 文法確認、演習
第10回	Lesson 1～4 文法確認、演習	第25回	
第11回	Lesson 5 テーマ(日本の伝統文化である歌舞伎と隈取)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第26回	
第12回	Lesson 5 アウトプット[日本の伝統文化]について、英語で説明する。	第27回	
第13回	Lesson 6 テーマ(伝統の継承)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第28回	
第14回	Lesson 6 アウトプット[地元で有名な場所やもの]について、英語で説明する。	第29回	
第15回	Lesson 7 テーマ(世界の人々と交流する方法)に関連するグループワーク及び本文の概要を読み取る、聞き取る。	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択
	論理・表現Ⅰ					
教科書	New FavoriteⅠ English Logic and Expression					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
教科書の内容をもとに、英語を通じて、クラスメイトとコミュニケーションをとったりすることによって、簡単な情報や考えを多様な観点から考察したり、論理の展開や表現の仕方を工夫しながら伝える能力を身につける。						
到達目標						
簡単な情報や考えを多様な観点から考察したり、論理の展開や表現の仕方を工夫しながら伝えることができる。						
履修にあたって						
○準備物 教科書・ノート ○授業・レポート・テストについて 英語表現Ⅰの授業は、英語を使った表現活動（ライティング、スピーキング）が中心になります。初めから上手にできる必要は全くありませんが、表現活動に挑戦しようという姿勢が大切になります。英語で何かを表現できるようになりたい人は是非履修を検討してみてください。 レポートは、教科書の内容（読解、英文法）に加えて、授業で実施した表現活動に関する内容が出題されます。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 8回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	Lesson 1 初めての食事、Lesson 2 道に迷う
第2回	Lesson 3 人物紹介、Lesson 4 体調が悪い
第3回	Lesson 5 買い物、Lesson 6 行ってみたい場所
第4回	Lesson 7 イベントに誘われる、Lesson 8 スクールカウンセラーに相談
第5回	Lesson 9 お気に入りを紹介、Lesson 10 待ち合わせに遅刻
第6回	Lesson 11 家庭でのディスカッション、Lesson 12 英字新聞に投稿
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	Lesson 1のテーマ（食事に関する表現）に注目し、自身の意志を簡単な英語で伝える。	第16回	Lesson 10～12の文法・表現確認、演習
第2回	Lesson 2のテーマ（道案内）に関するペアワークを実施する。	第17回	
第3回	Lesson 3の本文を元に、身近な人を紹介する英文を作成する。	第18回	
第4回	Lesson 1～3の文法・表現確認、演習	第19回	
第5回	Lesson 4の表現（体調不良時のやり取り）を確認し、ペアでロールプレイを行う。	第20回	
第6回	Lesson 5の場面（買い物）で使用できる表現を確認し、ペアでロールプレイを行う。	第21回	
第7回	Lesson 6のテーマ（行ってみたい場所）について、英文を作成する。	第22回	
第8回	Lesson 4～6の文法・表現確認、演習	第23回	
第9回	Lesson 7の表現（勧誘等）に注目し、ペアでロールプレイを行う。	第24回	
第10回	Lesson 8の表現（状況説明、提案等）を確認し、申し出に対する適切な返答を学ぶ。	第25回	
第11回	Lesson 9のテーマ（お気に入り紹介）について、英文を作成する。	第26回	
第12回	Lesson 7～9の文法・表現確認、演習	第27回	
第13回	Lesson 10の表現（謝罪、返答等）を確認し、場面に合わせた適切な返答を学ぶ。	第28回	
第14回	Lesson 11の本文を元に、自身の考えを英文で表現する。	第29回	
第15回	Lesson 12の本文を参考に、自身の主張や要望を英文で表現する。	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択
	美術Ⅱ					
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>創造的な諸活動や作品鑑賞を通して美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。</p> <p>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表す。また、対話型鑑賞を通じて発想や構想の独自性と表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p>						
到達目標						
<p>生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>						
履修にあたって						
<p>美術Ⅱは、美術Ⅰを履修済みの生徒が選択できる科目です。</p> <p>美術Ⅰで扱った題材を更に発展させた内容となります。</p> <p>美術Ⅰ同様、この授業は作品のみでの採点は行いません。</p> <p>作品の発想やその表現に至る過程も含めて評価していきます。</p>						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】8回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	デザイン 色の整理と配色
第2回	デザイン 色相と配色
第3回	デザイン イメージをカタチに①
第4回	デザイン イメージをカタチに②
第5回	鑑賞 絵画鑑賞
第6回	絵画 空想画
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション①	第16回	美術Ⅱまとめ 次年度に向けて
第2回	オリエンテーション②	第17回	
第3回	レポート課題取り組みのポイント①	第18回	
第4回	レポート課題取り組みのポイント②	第19回	
第5回	デザイン 色のイメージ①	第20回	
第6回	デザイン 色のイメージ②	第21回	
第7回	絵画 観察①	第22回	
第8回	絵画 観察②	第23回	
第9回	デザイン 配色の工夫①	第24回	
第10回	デザイン 配色の工夫②	第25回	
第11回	映像メディア 写真①	第26回	
第12回	映像メディア 写真②	第27回	
第13回	単位認定試験対策①	第28回	
第14回	単位認定試験対策②	第29回	
第15回	美術Ⅱまとめ	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択
	産学連携Ⅰ					
教科書	なし					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>産学連携で示された自分たちにとって身近な課題に取り組む中で、情報を収集し、整理分析して自分の意見（企画）をつくっていく授業です。</p> <p>課題に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身につけましょう。</p>						
到達目標						
<p>横断的・総合的な課題に取り組む中で、探究の見方・考え方を働かせ、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を身につけることを目標とします。</p>						
履修にあたって						
<p>このプログラムは実際の企業要望に応じていく中で「企画・プレゼンテーション」を体験する講座です。今回は広報誌へ掲載する記事の作成に取り組み、成果物は実際の雑誌として発行する予定です。段階を踏みながら制作に取り組むため「原則全講座への出席が必須」となります。</p> <p>またこの講座は事前説明会に参加し、講座内容を十分に理解することが申し込みの条件になります。興味がある人は別紙の案内に従って、必ず「事前説明会に参加」してください。</p>						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】8回以上出席すること ※原則全講座への出席が必須						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	授業レポートⅠ（企画立案について）
第2回	授業レポートⅡ（作品制作について）
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	ガイダンス（課題説明）	第16回	最終プレゼン・完成データ入稿
第2回	広告媒体の分析	第17回	
第3回	企画の立て方	第18回	
第4回	企画書の作成	第19回	
第5回	広告制作のポイント	第20回	
第6回	ラフデザイン	第21回	
第7回	中間発表・講評	第22回	
第8回	中間発表・講評	第23回	
第9回	アプリケーションレクチャー	第24回	
第10回	広告制作（デザイン構成の完成）	第25回	
第11回	広告制作（デザイン構成の完成）	第26回	
第12回	検討会	第27回	
第13回	広告制作（仕上げ）	第28回	
第14回	広告制作（仕上げ）	第29回	
第15回	最終プレゼン・完成データ入稿	第30回	

【3年生必修科目】

2024年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	体育Ⅲ					
教科書	新高等保健体育（大修館書店）					
副教材	イラストでみる最新スポーツルール2023					
授業の概要・目的						
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。						
到達目標						
運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を身につけることができる。						
履修にあたって						
【実技】準備物：体育館シューズ、動きやすい服装 【座学】準備物：教科書「新高等保健体育（大修館書店）」、筆記用具 運動をすると、さわやかな気分になったり心地よさを味わったりすることができます。また、体力の向上にもつながります。現代社会で健康を保持増進していくには、運動は必要不可欠です。運動が苦手でも構いません。仲間とともに運動を楽しみましょう。 ※「新高等保健体育（大修館書店）」と「イラストでみる最新スポーツルール2025（大修館書店）」の教科書は3年間使用します。大切に扱きましょう。						
観点別評価						
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	単位認定試験の点数により評価する					
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】10回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること					・体操服（運動・スポーツができる格好） ・体育館シューズ ※それぞれ指定はありません。	

レポート	
回	内容
第1回	第3章 豊かなスポーツライフの設計 1節生涯スポーツの見方・考え方～2節ライフスタイルとスポーツの楽しみ方 スポーツ種目
第2回	第3章 豊かなスポーツライフの設計 3節スポーツ推進のための施策と課題～4節スポーツで「未来」を創る スポーツ種目
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第3章1節生涯スポーツの見方・考え方	第16回	第3章4節スポーツで「未来」を創る
第2回	体づくり運動	第17回	これまでの振り返り（実技）
第3回	バスケットボール	第18回	これまでの振り返り（座学）
第4回	バスケットボール	※授業の進行状況や体育館の利用状況により変更になる場合あり	
第5回	バスケットボール	第20回	
第6回	バスケットボール	第21回	
第7回	バスケットボール	第22回	
第8回	バスケットボール	第23回	
第9回	第3章2節ライフスタイルとスポーツの楽しみ方	第24回	
第10回	第3章3節スポーツ推進のための施策と課題	第25回	
第11回	ニュースポーツ	第26回	
第12回	ニュースポーツ	第27回	
第13回	ニュースポーツ	第28回	
第14回	ニュースポーツ	第29回	
第15回	ニュースポーツ	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	情報Ⅰ					
教科書	新編 情報Ⅰ（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>多くの情報に囲まれた現代社会においては、必要な情報を選択し、その真偽を判断し、最適な行動をとることができる情報活用能力が必要となります。レポートやスクーリングでの座学・実習を通してコンピュータやインターネットやネットワークの仕組み、情報モラルや情報デザインに関する知識の習得、情報に関する科学的な見方や考え方を身につけ、情報活用能力を生かした問題解決能力を育成することを目指します。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・自らの生活・学習において、主体的な情報活用ができる。・情報や情報技術の仕組み、情報の取り扱い方に関する基本的な理論や方法、仕組みを理解する。・情報や情報技術が果たしている役割、社会に及ぼす影響を理解し、情報の正しい扱い方を判断できる。						
履修にあたって						
<p>情報や情報機器についてよく理解し、それらを上手に活用する方法を身につけるために、主体的にレポートや授業での課題に取り組みましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 6回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	第1章 情報で問題を解決する
第2回	第2章 情報を伝える
第3回	第3章 コンピュータを活用する
第4回	第4章 データを活用する
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	ガイダンス・座学（情報で問題を解決する）	第16回	
第2回	実習（PowerPoint）	第17回	
第3回	座学（情報で問題を解決する）	第18回	
第4回	実習（Word）	第19回	
第5回	座学（情報を伝える）	第20回	
第6回	座学（情報を伝える）	第21回	
第7回	実習（PowerPoint）	第22回	
第8回	座学（コンピュータを活用する）	第23回	
第9回	座学（データを活用する）	第24回	
第10回	実習（Excel）	第25回	
第11回	座学（データを活用する）	第26回	
第12回	単位認定試験対策	第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	必修
	総合Ⅲ					
教科書	なし					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>「コミュニケーション探究」をテーマとし、対話を通じて様々な大学の「総合型選抜入試」の過去問題に取り組んでいく授業です。</p> <p>対話的な様々な課題に取り組む中で、探究の見方・考え方を働かせ、よりよい課題解決ができるための資質・能力を身につけていきましょう。</p>						
到達目標						
<p>課題に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身につけることを目標とします。</p>						
履修にあたって						
<p>この授業では「コミュニケーション」をテーマとして扱っていきます。</p> <p>前年度に引き続き、総合Ⅱで扱った題材を更に発展させた内容となります。</p> <p>様々な活動を通じて、総合ⅠやⅡで培った資質・能力に加え「表現力」と「自ら学びに向かう態度」を身につけていきましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】6回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	コミュニケーション（対話）について
第2回	コラボレーション（協働）について
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	総合型選抜入試対策①（グループ討議）	第6回	総合型選抜入試対策⑥（グループ討議）
(2時間)	文章表現	2時間連続	文章表現
第2回	総合型選抜入試対策②（グループ討議）	第7回	総合型選抜入試対策⑦（グループ討議）
2時間連続	文章表現	2時間連続	文章表現
第3回	総合型選抜入試対策③（グループ討議）	第8回	総合型選抜入試対策⑧（グループ討議）
2時間連続	文章表現	2時間連続	文章表現
第4回	総合型選抜入試対策④（グループ討議）	第9回	総合型選抜入試対策⑨（グループ討議）
2時間連続	文章表現	2時間連続	文章表現
第5回	総合型選抜入試対策⑤（グループ討議）	第10回	総合型選抜入試対策⑩（グループ討議）
2時間連続	文章表現	2時間連続	文章表現

【3年生履修指定科目】

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	4	単位	区分	3学年履修指定
	国語表現					
教科書	『国語表現』（大修館）					
副教材	『パスポート国語必携』（桐原書店）『国語表現 基礎練習ノート』（大修館）					
授業の概要・目的						
現代の高校生が実際の日常生活や社会生活の中で必要とされる表現力を身につけるための授業です。随筆・評論を読み解きながら、多角的な視点に立ち、自身で表現することを目的としています。また、言葉を通して他者や社会に積極的に関わる態度を身につけることを目指します。						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。・ 共感する力、想像力を伸ばし、表現の手段を得る。・ 論理的思考の下、筋道の立った論を立てることができる。・ 目的に合わせて表現方法を変えることができる。						
履修にあたって						
国語表現では「書くこと」のみならず、「話すこと」「聞くこと」を取り上げて授業を進めていきます。場面に合わせた表現方法を身につけ、今後の社会生活に生かしていきましょう。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 4回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	文章の整え方①
第2回	文章の整え方②
第3回	文章の整え方③
第4回	原稿用紙の使い方
第5回	作文の書き方①
第6回	教養試験対策
第7回	就職試験（SPI）対策①
第8回	就職試験（SPI）対策②
第9回	作文の書き方②
第10回	作文の書き方③
第11回	履歴書の書き方
第12回	敬語の使い方

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	文章の整え方1/3	第16回
第2回	文章の整え方2/3	第17回
第3回	文章の整え方3/3	第18回
第4回	原稿用紙の使い方	第19回
第5回	作文の書き方1/3・試験対策	第20回
第6回	作文の書き方2/3	第21回
第7回	作文の書き方3/3	第22回
第8回	履歴書の書き方1/2	第23回
第9回	履歴書の書き方2/2	第24回
第10回	敬語の使い方・試験対策	第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	3	単位	区分	3学年履修指定
	日本史探究					
教科書	日本史探究（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>この科目は、「歴史総合」を学習した上で、我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、地域や日本、世界の歴史の関わりを踏まえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養うことが目的です。「A 原始・古代の日本と東アジア」、「B 中世の日本と世界」、「C 近世の日本と世界」、「D 近現代の地域・日本と世界」という四つの大項目を学習しつつ、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期を表現します。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義を考察したり効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。						
履修にあたって						
<p>知識の暗記も大切ですが、それ以上に「考える力」がとても重要です。「過去の事象と類似した現代の事象は何だろうか」「現在の事象と、どのような点が関連しているのだろうか」など、現代と結び付けて考える習慣を付けましょう。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 3回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	旧石器時代の日本～平城京と天平文化
第2回	平安遷都と唐風文化～中世社会の国際交流
第3回	鎌倉幕府の誕生～室町文化
第4回	織豊政権と桃山文化～幕藩体制下の社会の発展
第5回	享保の改革～幕府の崩壊と明治維新
第6回	近現代制度の導入と新しい国際関係～教育制度の整備と新しい文化
第7回	日露戦争と帝国日本～政党政治とデモクラシー
第8回	第二次世界大戦と日本～冷戦の開始と経済復興
第9回	国際社会への復帰と高度経済成長～21世紀の日本
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	奈良時代の朝廷と文化	第16回	
第2回	平安時代の朝廷と文化	第17回	
第3回	武家政権の成立と国際社会の変容	第18回	
第4回	第1～3回授業の振り返り	第19回	
第5回	第一次世界大戦における日本の在り方	第20回	
第6回	第二次世界大戦における日本の在り方	第21回	
第7回	現代の世界と日本	第22回	
第8回	第5～7回授業の振り返り	第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

【3年生選択科目】

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	4	単位	区分	選択
	古典探究					
教科書	『新編 古典探究』（東京書籍）					
副教材	『新編 古典探究 学習課題ノート』（東京書籍）					
授業の概要・目的						
<p>伝統的な言語文化に対する関心と理解を深めるための授業です。論理的に考える力や共感したり想像したりする力を育成することを目的としています。</p> <p>また、伝統的な言語文化を通して、現在の「国語」の理解を深めることを目指します。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・ 古典としての古文と漢文を読む能力を養う。・ 思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育む。・ 古典を通して現在の「国語」の理解を深め、客観的な視点を持つ。						
履修にあたって						
<p>古典探究では、2年次の言語文化の内容からさらに上を目指していきます。授業で取り上げる作品はもちろんのこと、授業外・教科書外の作品にも挑戦できるように、基礎的な知識を身につけるための課題を用意します。大学受験で古典が必要な人、古典作品に深く触れたい人におすすめです。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 4回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	【古文】『十訓抄』 「大江山の歌」
第2回	【古文】『徒然草』
第3回	【古文】『竹取物語』
第4回	【漢文】唐詩
第5回	【漢文】項羽と劉邦
第6回	【古文】『小倉百人一首』
第7回	【古文】近世俳句抄
第8回	文学史
第9回	【古文】『土佐日記』
第10回	【古文】『平家物語』
第11回	【古文】『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「若紫」
第12回	【漢文】儒家と道家

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション 『十訓抄』	第16回	
第2回	『徒然草』	第17回	
第3回	『竹取物語』 1/2	第18回	
第4回	『竹取物語』 2/2	第19回	
第5回	『史記』 項羽と劉邦・試験対策	第20回	
第6回	『土佐日記』	第21回	
第7回	『平家物語』	第22回	
第8回	『源氏物語』 1/2 「光源氏の誕生」	第23回	
第9回	『源氏物語』 2/2 「若紫」	第24回	
第10回	儒家と道家・試験対策	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択
	政治・経済					
教科書	政治・経済（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>「政治・経済」の学習は、基本的には「公共」の延長線上にあります。ただし、大きく異なるのは、「政治・経済」では日本や世界の政治や経済について俯瞰的に学習するという点です。日本の政治のしくみはどうなっているか、日本経済が成長するには何が必要かなどの課題を具体的に追究していくなかで、政治や経済に関する知識・概念や「視点や方法」を身につけていきます。そのうえで、自分自身に立ち返り、よりよい社会を形成するために自分にできることを構想し、実践していきます。</p>						
到達目標						
<p>1 社会の在り方に関わる諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。</p> <p>2 社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する理論などを活用し、社会に見られる課題を把握し説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの実現可能性などを議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養います。</p> <p>3 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる、国民主権を担う公民として、平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。</p>						
履修にあたって						
<p>「公共」で身につけた「視点や方法」を活かしつつ、政治・経済に対するより深い理解の下、より実践的な解決策を探究していくのが、「政治・経済」の特徴です。「政治・経済」を学習する上では、当然、「公共」で学習した知識・概念や「視点や方法」が学習の基盤として重要になってきます。</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】2回以上出席すること						
【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 2節 日本国憲法の基本原理
第2回	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済
第3回	4節 福祉社会と日本経済の課題
第4回	第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 2節 複雑化する国際政治と日本
第5回	第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済
第6回	2節 世界経済の現状と課題
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）		
第1回	第1編 第1章 現代日本の政治①	第16回
第2回	第1章 現代日本の経済①	第17回
第3回	第1・2回授業振り返り（テスト対策）	第18回
第4回	第2編 第1章 現代の国際政治①	第19回
第5回	第2章 現代の国際経済①	第20回
第6回	第4・5回授業振り返り（テスト対策）	第21回
第7回		第22回
第8回		第23回
第9回		第24回
第10回		第25回
第11回		第26回
第12回		第27回
第13回		第28回
第14回		第29回
第15回		第30回

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	4	単位	区分	選択
	化学					
教科書	化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>化学では物質の性質・構造・反応について詳しく学習する。また、化学の知識を活かして物質を利用したり目的にかなった物質をつくり出すなどこれまで人類が積み上げてきた化学の実績についても学習する。物質に関する原理・法則について学び、それらと身の回りにある物質の具体的なふるまいを結び付けて理解することができるようになることを目指す。</p> <p>化学の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。</p>						
到達目標						
<p>自然界は物質によってできており、その物質は原子によってできていることを理解する。</p> <p>物質の性質・構造・反応を原子や分子のレベルで捉えることができる。</p> <p>授業で学んだことを活かし、物質に関する原理や法則を身の回りの具体的なふるまいと結び付けて説明することができる。</p>						
履修にあたって						
<p>化学を学ぶことは、物質の構造や反応の本質を理解し、私たちの生活を支える科学の基盤を築くことです。日常に隠された“なぜ”を解き明かすことで、より広い視野と論理的な思考力が身につきます。</p> <p>また、環境やエネルギー、医療など多岐にわたる分野での応用も期待され、未来の可能性が広がります。未知の世界を探究する第一歩として、化学を学び始めてみませんか？</p>						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 16回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	化学反応式と物質質量（復習）
第2回	物質の三態・気体の性質
第3回	理想気体の状態方程式・混合気体・溶液
第4回	蒸気圧降下・沸点上昇・凝固点降下・浸透圧・コロイド
第5回	結晶の種類・金属結晶の構造
第6回	熱化学方程式・結合エネルギー
第7回	電池・電気分解
第8回	反応速度と活性化エネルギー・化学平衡とルシャトリエの原理・電離平衡と溶解平衡
第9回	周期表と希ガス・ハロゲン・酸素・硫黄
第10回	窒素・リン・炭素・ケイ素・アルカリ（土類）金属・典型元素・遷移元素
第11回	有機化合物
第12回	高分子化合物

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	化学反応式（復習）	第16回	化学平衡とルシャトリエの原理
第2回	物質質量計算（復習）	第17回	電離平衡と溶解平衡
第3回	物質の三態	第18回	周期表と希ガス
第4回	気体の性質	第19回	ハロゲン・酸素・硫黄
第5回	理想気体の状態方程式	第20回	窒素・リン・炭素・ケイ素
第6回	溶液	第21回	アルカリ（土類）金属・典型元素・遷移元素
第7回	蒸気圧降下・沸点上昇・凝固点降下	第22回	有機化合物
第8回	浸透圧・コロイド	第23回	高分子化合物
第9回	結晶の種類・金属結晶の構造	第24回	単位認定試験対策授業
第10回	熱化学方程式・結合エネルギー	第25回	
第11回	電池	第26回	
第12回	電気分解	第27回	
第13回	第1回～第12回に関わる実験及び解説など	第28回	
第14回	中間試験対策授業	第29回	
第15回	反応速度と活性化エネルギー	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	4	単位	区分	選択
	生物					
教科書	生物（東京書籍）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
「生物基礎」からの発展的な内容にも触れ、より深く生物や生命現象について学んでいきます。生物の共通性と多様性がどのようにして生まれたのかを知り、私たちやその他の生物の存在と多様なあり方を認めていきます。世界がちょっと面白くなるような生物の特徴を学んでいきます。 生物について学ぶことで、生物の一員である我々ヒトについての理解を深める。「細胞」「組織」「個体」「生態系」という階層性を意識して学ぶことで、生物学を大小様々な視野で捉えることができるようになることを目指す。 生物の学習の過程で、新たな知識を獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。						
到達目標						
生物学の基礎的な知識を習得し、生物の共通性と多様性を理解する。 生物基礎をさらに深めた内容でしくみを知り、自分を知ることで命の大切さを理解する。 授業で学んだことを活かし、分子から進化の歴史まで、大小や時間軸の視点で生物学を捉えることができる。 授業で学んだことを活かし、「生物とは何か」について、自分なりの考えを持つことができる。						
履修にあたって						
生物とそれを取り巻く環境を学ぶことで、生物とは何か、動物とは何か、ヒトとは何かを考えてゆきます。それぞれの多様な生き方を理解すると、自分とは何者なのか次第に見えてくることでしょう。世界はこんなに多様で面白い。そんな実感がわくわくとともに湧いてくる学びにしたいと考えています。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 16回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	生命現象と物質 第1章～2章
第2回	生命現象と物質 第3章
第3回	遺伝子のはたらき 第1章～2章
第4回	遺伝子のはたらき 第3章～4章
第5回	生殖と発生 第1章～2章
第6回	生殖と発生 第3章～4章
第7回	生物の環境応答 第1章～2章
第8回	生物の環境応答 第3章
第9回	生態と環境 第1章～2章
第10回	生態と環境 第3章～4章
第11回	生物の進化と系統 第1章～2章
第12回	生物の進化と系統 第3章

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第1編 生体物質と細胞	第16回	第13回～第15回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り
第2回	第1編 生命現象を支えるタンパク質	第17回	第5編 生物の多様性と生態学～個体群 と生物群集
第3回	第1編 代謝とエネルギー	第18回	第5編 生態系の物質生産とエネルギー の流れ
第4回	第1回～第3回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り	第19回	第5編 生態系と生物多様性
第5回	第2編 DNAの構造と複製	第20回	第17回～第19回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り
第6回	第2編 遺伝情報の発現～遺伝子の発現 調節	第21回	第6編 生命の起源と生物の変遷
第7回	第2編 バイオテクノロジー	第22回	第6編 進化のしくみ
第8回	第5回～第7回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り	第23回	第6編 生物の系統
第9回	第3編 多様な個体が生じる有性生殖	第24回	第21回～第23回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り
第10回	第3編 動物の発生	第25回	
第11回	第3編 動物の発生の仕組み	第26回	
第12回	第9回～第11回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り	第27回	
第13回	第3編 植物の発生	第28回	
第14回	第4編 動物の刺激の受容と反応～動物 の行動	第29回	
第15回	第4編 植物の環境応答	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	4	単位	区分	選択
	英語コミュニケーションⅢ					
教科書	All Aboard! English Communication Ⅲ					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
教科書の内容をもとに、英語を通じて情報を収集したり、クラスメイトとコミュニケーションをとることによって、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語を用いてやり取りしたり、プレゼンテーションしたり、書いたりする能力を身につける。						
到達目標						
日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたりして概要や要点をとらえたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり、文章を書いて伝えることができる。						
履修にあたって						
<ul style="list-style-type: none">・準備物：教科書・ノート・筆記用具・4技能〔聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くこと〕について、授業やレポートで運用能力を高めていきましょう。・テストでは主に話すこと以外の練習の成果をはかっていきます。・教科書の語句や表現を習得する（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱで学んだ語句も確認できるようにしておくこと）と同時に複数のメディアを通して自主的に英語に触れましょう。・積極的にアウトプットの練習をしましょう。・英語を通して、異文化に触れ視野を広げ、複数の観点から物事を考える習慣をつけましょう。						
観点別評価						
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
思考・判断 ・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること						
【スクーリング】 16回以上出席すること						
【テスト】 中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	Lesson 1 Gifts to Barcelona
第2回	Lesson 2 Akkamui
第3回	Lesson 3 Your True Color
第4回	Lesson 4 Our Future Food?
第5回	Lesson 5 Madagascar
第6回	Reading 1 The Fun They Had
第7回	Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors
第8回	Lesson 7 Green Challenges
第9回	Lesson 8 Witnesses of War
第10回	Lesson 9 The Wonders of Lightning
第11回	Lesson 10 Katherine's Long Journey
第12回	Reading 2 Table for Two

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	Lesson1のテーマ（世界の建築物に目を向け異文化理解を促す）に関わるグループワーク及び本文の概要を読み取る	第16回	Lesson7「日本のエネルギー問題の現状」の詳細を聞き取る。再生可能エネルギーについて、国や地域を比較したプレゼンテーションの方法について学ぶ。
第2回	Lesson1「建築物の紹介」の概要を聞き取る、建築物について、英語で紹介する。	第17回	Lesson5～Lesson7の文法確認、演習
第3回	Lesson2のテーマ（エゾモモンガの生態及びアイヌについて）に関わるグループワーク及び本文の概要を読み取る。	第18回	Lesson8「路面電車の果たした役割」について情報を読み取り本文の内容に関する質問に答える。
第4回	Lesson2「エゾモモンガの生態」の概要を聞き取る、生き物の特徴について、英語で説明する。	第19回	Lesson8で知ったことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章を書く。※広島路面電車の存在から、平和について考える。
第5回	Lesson3のテーマ（伝統衣装やファッション）に関わるグループワーク及び本文の概要を読みとる。	第20回	Lesson9のテーマ（雷と地球温暖化の関係）に関わるグループワーク及び本文の概要を読み取る。
第6回	Lesson3「服のあり方、ファッションの意味」の概要を聞き取る、「ファッションについて、英語でインタビューをする」	第21回	Lesson9「雷の発生のメカニズムと地球環境の変化」の詳細を聞き取る。内容について個別の感想を英語で表現する。
第7回	Lesson4のテーマ（環境問題や食糧不足、宇宙食などの問題）に関わるグループワーク及び本文の概要を読み取る。	第22回	Lesson10のテーマ（NASAの宇宙開発）に関わるグループワーク及び本文の概要を読み取る。
第8回	Lesson4「昆虫食について」の概要を聞き取る、食糧問題について、英語でミニディベートをする。	第23回	Lesson10「キャサリンの業績とアメリカにある差別について」の情報を正確に聞き取る。「自己実現やそこにある壁」について、英語で表現する。
第9回	Lesson1～Lesson4の文法確認、演習	第24回	Lesson8～Lesson10の文法確認、演習
第10回	Lesson5のテーマ（マダガスカル独特な自然環境）に関わるグループワーク及び本文の概要を読み取る。	第25回	
第11回	Lesson5「マダガスカル自然の豊かさ、国の抱える問題、克服の姿」の概要を聞き取る。プレゼン方法等について基本的な知識を習得する。	第26回	
第12回	自然環境との共生について考え、地域の自然について、英語でプレゼンテーションをする	第27回	
第13回	Lesson6のテーマ（兵馬俑の謎）に関わるグループワーク及び本文の概要や要点を読み取る。	第28回	
第14回	Lesson6「馬俑の謎」について詳細を聞き取る。「訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書く」。	第29回	
第15回	Lesson7のテーマ（エネルギー問題）に関わるグループワーク及び本文の概要を読み取る。	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択
	美術Ⅲ					
教科書	高校生の美術3（日本文教出版）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>創造的な諸活動や作品鑑賞を通して美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。</p> <p>制作や鑑賞を通じて自己と社会を深く見つめ、これまでの創造活動を発展させ、創造的な表現を追求する。また、対話型鑑賞を通じて発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深める。</p>						
到達目標						
<p>生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>						
履修にあたって						
<p>美術Ⅲは、美術Ⅱを履修済みの生徒が選択できる科目です。</p> <p>美術Ⅱで扱った題材を更に発展させた内容となります。</p> <p>美術Ⅱ同様、この授業は作品のみでの採点は行いません。</p> <p>作品の発想やその表現に至る過程も含めて評価していきます。</p>						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】 全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】 8回以上出席すること						
【テスト】 レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	デザイン 言葉とビジュアル
第2回	絵画 配色の工夫
第3回	デザイン 色の整理と配色
第4回	絵画 線と面
第5回	デザイン イメージをカタチに
第6回	絵画 空想画
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション①	第16回	1年間のまとめ②
第2回	オリエンテーション②	第17回	
第3回	レポート課題取り組みのポイント①	第18回	
第4回	レポート課題取り組みのポイント②	第19回	
第5回	デザイン 観察とアイデア①	第20回	
第6回	デザイン 観察とアイデア②	第21回	
第7回	絵画 線と面①	第22回	
第8回	絵画 線と面②	第23回	
第9回	デザイン 企画とプレゼンテーション①	第24回	
第10回	デザイン 企画とプレゼンテーション②	第25回	
第11回	鑑賞 映像メディア①	第26回	
第12回	鑑賞 映像メディア②	第27回	
第13回	単位認定試験対策①	第28回	
第14回	単位認定試験対策②	第29回	
第15回	1年間のまとめ①	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	1学年履修指定
	工芸Ⅰ					
教科書	工芸Ⅰ（日本文教出版）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>【概要】工芸品等の鑑賞を通して工芸の伝統・文化・実用性についての理解を深めます。また、模型や立体作品の制作やグループワークを通して造形や色彩についての理解を深める対話的な授業で、思考力・表現力を身につける授業です。</p> <p>【目的】工芸に対する知的好奇心を高め、協働力・表現力を高めることが目標です。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">生活における工芸の必要性を理解する。さまざまな様式の工芸品を知る。テーマ性のある工芸品の新しいアイデアを考える。						
履修にあたって						
<ul style="list-style-type: none">紙や自然物などを素材とする立体作品を制作します。グループワーク形式で対話を深めながら課題に取り組みます。						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】8回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 1
第2回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 2
第3回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 3
第4回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 4
第5回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 5
第6回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 6
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション 1	第16回	工芸の素材 4
第2回	色彩と造形	第17回	
第3回	工芸の用と美 1	第18回	
第4回	工芸の用と美 2	第19回	
第5回	工芸の用と美 3	第20回	
第6回	工芸の用と美 4	第21回	
第7回	あたらしい工芸のアイデア 1	第22回	
第8回	あたらしい工芸のアイデア 2	第23回	
第9回	工芸の形と色 1	第24回	
第10回	工芸の形と色 2	第25回	
第11回	工芸の形と色 3	第26回	
第12回	工芸の形と色 4	第27回	
第13回	工芸の素材 1	第28回	
第14回	工芸の素材 2	第29回	
第15回	工芸の素材 3	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択
	工芸Ⅱ					
教科書	工芸Ⅱ（日本文教出版）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>【概要】工芸品の鑑賞を通して工芸の日常生活における役割を理解します。 また、模型や立体作品の制作やグループワークを通して造形や色彩についての理解を深める対話的な授業で、思考力・表現力を身につける授業です。</p> <p>【目的】「工芸Ⅰ」の学習を踏まえ、工芸の伝統や文化と深く関わる能力を伸ばすことが目的です。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・社会的な視点に立って工芸の役割を深く理解する。・さまざまな様式の工芸品を知る。・他者の意見を踏まえて工芸の新しいアイデアをつくる。						
履修にあたって						
<ul style="list-style-type: none">・紙や自然物などを素材とする立体作品を制作します。・グループワーク形式で対話を深めながら課題に取り組みます。						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】8回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 1
第2回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 2
第3回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 3
第4回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 4
第5回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 5
第6回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 6
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション 1	第16回	社会と工芸 4
第2回	伝統と工芸 1	第17回	
第3回	伝統と工芸 2	第18回	
第4回	伝統と工芸 3	第19回	
第5回	生活と工芸 1	第20回	
第6回	生活と工芸 2	第21回	
第7回	生活と工芸 3	第22回	
第8回	生活と工芸 4	第23回	
第9回	新しい工芸のアイデア 1	第24回	
第10回	新しい工芸のアイデア 2	第25回	
第11回	新しい工芸のアイデア 3	第26回	
第12回	新しい工芸のアイデア 4	第27回	
第13回	社会と工芸 1	第28回	
第14回	社会と工芸 2	第29回	
第15回	社会と工芸 3	第30回	

2025年度 京都芸術大学附属高等学校 シラバス

科目	普通科目	単位数	2	単位	区分	選択
	工芸Ⅲ					
教科書	工芸Ⅲ（日本文教出版）					
副教材	なし					
授業の概要・目的						
<p>【概要】発展的な鑑賞や対話、制作活動など、工芸の創造的な諸活動に取り組み、感性と美意識を磨きます。また、模型や立体作品の制作やグループワークを通して造形や色彩についての理解を深める対話的な授業で、思考力・表現力を身につける授業です。</p> <p>【目的】美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な工芸やその伝統や文化と深く関わる資質・能力を身につけることが目標です。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none">・これからの時代における工芸のあり方についての考えを発表する。・他者の意見を踏まえて工芸の新しいアイデアをつくる。・造形や色彩の知識を活かして発展的な立体作品を制作する。						
履修にあたって						
<ul style="list-style-type: none">・紙や自然物などを素材とする立体作品を制作します。・グループワーク形式で対話を深めながら課題に取り組みます。						
観点別評価						
知識・技能	レポート試験の点数により評価する					
思考・判断 ・表現	レポート試験の点数により評価する					
主体的に学習に 取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する					
単位認定の基準					材料費・実習費用等について	
【レポート】全て提出し合格すること					なし	
【スクーリング】8回以上出席すること						
【テスト】レポート試験を受験し、合格すること						

レポート	
回	内容
第1回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 1
第2回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 2
第3回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 3
第4回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 4
第5回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 5
第6回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する 6
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション 1	第16回	美意識と工芸 4
第2回	地域と工芸 1	第17回	
第3回	地域と工芸 2	第18回	
第4回	地域と工芸 3	第19回	
第5回	多様な社会における工芸 1	第20回	
第6回	多様な社会における工芸 2	第21回	
第7回	多様な社会における工芸 3	第22回	
第8回	多様な社会における工芸 4	第23回	
第9回	新しい工芸のアイデア 1	第24回	
第10回	新しい工芸のアイデア 2	第25回	
第11回	新しい工芸のアイデア 3	第26回	
第12回	新しい工芸のアイデア 4	第27回	
第13回	美意識と工芸 1	第28回	
第14回	美意識と工芸 2	第29回	
第15回	美意識と工芸 3	第30回	